

メルマガ 第 2 号 吉村順三記念ギャラリー 展示企画や見学会を ご案内いたします。  
そろそろ お花見イベントも 聞こえてくる季節ですが 皆様、如何お過ごしでしょうか。

\*\*\*\*\*

吉村順三記念ギャラリーでは

★★☆ J YMG 小さな建築展 第 20 回 ☆★★

「 吉村順三とアメリカ 」 展を

3 月 6 日 (土) から 4 月 11 日 (日)迄の

各土曜日・日曜日 午後 1 時～ 6 時まで

開催しております。

吉村順三は、アメリカの開拓者精神・リベラルな心が好きだった。1940年にレーモンド事務所の所員として初めて渡米し、住宅を含むいくつかの設計を担当した。

アメリカでは、ワシントン D.C. にある スミソニアン の Freer Gallery と Museum of African Art の設計 (1977) をしたが その途中で病に倒れ、断念するまでに十数件の設計を手掛けた。当時それらの作品は、異国趣味と捉えられていた日本の文化・芸術をもっと真正なものとして理解されるきっかけを作った。(吉村隆子)

○展示内容

☆アメリカ:レーモンド事務所 時代 担当作品

○・☆Montauk Point の家 NY(1940)

・☆Library of Congress 齊藤大使記念室 Washington.DC (1941)

\*\*\*\*\*

○・松風荘 MoMA ニューヨーク(1954)

・ニューヨーク日本航空営業所内装 (1956)

○・Motel on the Mountain NY.suffern(1956)

・ニューヨーク高島屋内装 (1958)

○・茶室 at Pocantico Hills(1962)

○・Japan House NY(1971)

○・ポカンティコヒルの家(1974) (模型 展示しています。)

○・(ハーン邸) Maryland (1976)

○・Montauk Point の家 (フレデリックス邸) 計画 NY(1977)

・Smithsonian Museum 計画 Washington.DC(1977)

吉村順三記念ギャラリー

担当 奥村まこと 野口朝夫 平尾寛 藤井章 吉村隆子

★★☆吉村順三とアメリカ☆★★

70年前、吉村が撮影した（ポジフィルム）1940年のスライド写真が、うまく復刻出来たか  
と思います。 大変興味深く 米国ニューホープのRaymondファーム そして  
BARN（納屋）などの様子が カメラに捉えられております。

1940年 モントークポイントの家やBARNなどをご覧いただくと 若き吉村順三の根源  
となる vocabulary が、処々に見えます、その spirit を彷彿として感じられます。是非ご覧  
ください。

1974年ボカンティコヒルの家： 模型も このたび 修正加え その構成・大きさが理解  
しやすくなりました。

吉村は、アメリカであろうが、世界のどこに行っても建築設計に対する姿勢は変わらな  
かった。この変わらぬ姿勢は、吉村が本当に建築設計が好きであった事をこれらアメリカで  
の作品から垣間見る事が出来るでしょう・・・。

■展覧会について詳しくは→<http://www.sepia.dti.ne.jp/jymg/>

\*\*\*\*\*

★★☆愛知芸大の見学会☆★★

シンポジウム『吉村順三建築を見る・聴く』

日 時 2010年3月27日(土)

→13:30～（見学会）

→15:30～17:00（講演・対談）

集合場所 愛知県立芸術大学管理棟前

資料代 1,000円

★☆申込☆★名古屋CDフォーラム TEL052-933-3101 FAX052-933-3102

詳しくは→[http://cd-magazine.at.webry.info/201002/article\\_2.html](http://cd-magazine.at.webry.info/201002/article_2.html)

申込締切 2010年3月23日(火)

内 容 第1部 見学会 愛知県立芸術大学内

